



かがやく浜の子

平成30年度 10月号

平成30年度重点目標 気づき 考え 行動する子 「自分から みんなで」

学校での1年間と100m走

10月に入り、今年度もあっという間に折り返し地点を過ぎました。ふと、「学校の1年間って、全力で走り抜ける100m走と似ているかもしれない。」と思い、一流選手の100m走について調べてみました。すると、ゴールまで加速しながら一気に駆け抜けるように思われる100m走ですが、最高速度に達するのは、中間地点よりやや後半50m地点から60m地点の選手が多いということがわかりました。私が見た資料によると、

ボルト選手	65m地点	ケンブリッジ選手	55m地点	ガトリン選手	55m地点
桐生選手	45m地点	山縣選手	45m地点		

となっていました。どんなに一流の選手でも、最高速度到達後は徐々にそのスピードは落ちていくようです。ボルト選手の後半の加速がすごいと思えるのは、最高速度到達地点が他の選手より遠く、その後の減速も緩やかなためだと考えられます。

さて、2学期も後半に入ろうとしています。過ごしやすいこの時期、教育活動も充実期に入ります。4年生は音楽発表会、5年生は観音山野外学習、6年生は修学旅行と大きな行事が控えています。12月には、今までのはばたき学習の成果を保護者や地域の皆様に見ていただく「浜の子発表会」も予定しています。100m走の加速のように、4月から今までに教師と子どもたちとで培ってきた学級・学年の最高の力を、それぞれの行事や普段の授業で発揮する時期になることを願っています。(しかし、100m走と違ってほしいことは、その後も更に加速しながら、まとめの3学期に向かいたいということです。)



合唱の練習に励む4年生



旅行のしおりを確認する6年生



活動コースを相談する5年生

当たり前のことに感謝

先日の台風24号は、御前崎市にも大きな被害をもたらしました。停電になったため給食が用意できず、急遽、子どもたちを午前中で帰宅させる措置をとらせていただきました。急な変更にもかかわらず、各御家庭で対応くださり、本当に感謝しております。

学校で電気がつかないこと以外で困ったことは水です。学校で使用する水は、屋上にある貯水タンクから供給されるのですが、屋上のタンクに水を送るポンプは電気で動いているため、中が空になってしまう恐れが生じました。水が止まれば、飲み水はもちろんトイレにも困ります。幸いにも発電機が手配できたため、設置後は水の心配はなくなりました。私は私で自動車のガソリン残量が少なかったため、「学校へ通勤できなくなるのは・・・。」と心配しました。聞いた話では「自衛隊員は防災のためにガソリンを半分にしない。」とのこと。今後、自分も見習おうかと思いました。

今回の災害であらためて思ったことは、給食、電気、学校生活など当たり前に思っていることが、実は多くの方に支えられて成り立っており、感謝の気持ちを持つことが大切だということです。白羽小学校の子どもたちが毎日登校してきていること、元気に挨拶を交わしていること、精一杯、学校生活を送っていることに感謝です。そして、毎日、学校に送り出してくださっている保護者の皆さんにもあらためて感謝したいと思いました。

帰宅時、暗い中で、復旧作業に従事する中電の方を車窓から見かけました。そうした御努力にも、感謝です。

(文責 石谷)